

第3回松本市平和三行詩コンクール  
入賞作品

## 【 小学生の部 】

### ○最優秀賞

戦争とは、デメリットのかたまりだ。

罪の無い人たちからいつもの日常も、自由も、未来までもを  
うばっていく

この世で一番やらなくていいことだ。

市川 あおい (開明小学校6年生)

### ○優秀賞

人にはいろいろな「正義」がある。

どんなにきれいな人だとしても、その人にも、自分の  
「正義」がある。

それを分かり合うのはむずかしいけれど、相手の気持ちにな  
ってみるのが平和への第一歩なのかもしれない。

北川 詩織 (四賀小学校6年生)

### ○優秀賞

戦争争い暴力・・・これらはチクチク言葉だ

やさしさ、きずな、幸せ・・・これらはふわふわ言葉だ

世界中にふわふわ言葉が増えればいいのに

小林 楓 (開明小学校6年生)

## 【 中学生の部 】

### ○最優秀賞

平和と戦争、それは  
ある国では真逆のもので  
またある国では、同じようなもの

長谷川 明泉 (清水中学校2年生)

### ○優秀賞

私が、この広くつづく地球に立っていたら  
私がまっすぐ歩いて行ったところは、戦場になっていて、  
たくさんの人がこまっている。  
今の現状をかえるために、さがしたい。私のできることを。

内木 和花 (安曇中学校1年生)

### ○優秀賞

自分が幸せならみんなにわけあたえたらいい  
自分が幸せじゃないなら、助けを求めたり それを経験の1つ  
にしてみんなに教えてあげればいい  
そうやってみんなで「平和」をつくれたらいいなあ

上條 夢芽 (安曇中学校2年生)

## 【 一般の部 】

### ○最優秀賞

広島の平和記念公園に揺れる小さな千羽鶴  
人々は思いを託し、折り続けてゆく  
世界が平和となるその日まで

西牧 華佳

### ○優秀賞

間違いを間違いだと言えること。  
戦争で得られる利益より、生きていくことが一番。  
持つべきは武力ではなく、人間の優しさなのだ。

金丸 未来乃

### ○優秀賞

今週の日曜討論にも、「戦争」の文字が躍る怖ろしさ  
鮮やかに国民の声を代弁してくれる、いくつものネット  
ニュースの記事  
私たちは連帯を強固にして、仲間に、家族に、そして  
世界に、「平和」の大切さを発信し続ける

穂苺 真泉

# 【 松本ユース平和ネットワーク賞 】

五月晴れ

白黒写真のあの日の空

79年前の南の空の色おもう今日

岩下 忍